

菊池市四町分の茶畑

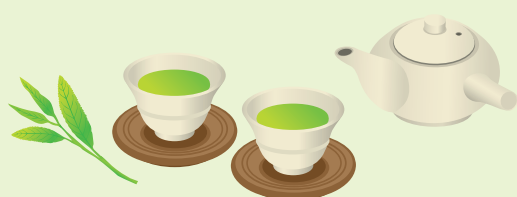


私たちはお茶農家です。今年は最後の茶摘みとなりました。

菊池市四町分の山あいには段々畑の茶畑が広がります。6戸の農家が栽培管理をしています。この美しい景観も今年で見納めになるということを聞き訪ねてみました。6戸の内の5戸が今年で栽培をやめるということです。平均年齢71才の生産者の方々と、年齢と後継者がいないというのが理由です。また、急須で茶を淹れて飲む人が少なくなり、消費の低迷も要因の一つです。「今年の茶摘みが終わると、茶の木はこいでしまわなん」と言われました。昭和47年、原野だったところを開墾されて茶畑となり「山のお茶は香りがいい」と喜ばれていました。近年ではペットボトル飲料の加工用として取り扱われることが多くなり、栽培基準は厳しくなる中、価格は下がり経営は厳しい状況となりました。

みなさんは、さびしそうでしたが「今まで頑張ってきたけん、もうよかばい」「仲間がおったけん50年、頑張ってこられたたい」と笑顔で昔話をされ、今年の茶摘みの準備に入られました。

(令和5年4月21日撮影)



*急須に茶葉を入れて、葉が開くのをゆっくり待って、お茶を飲んでホッと一息する時間もつくってみてはいかがでしょうか。お湯をちょっとぬるめにして香りと味をしっかりと楽しんでください。

茶部会生産者 (取材協力のみなさん)

元村正剛さん、まつ代さん
元村雄治さん、美知子さん
元村敏治さん、夏枝さん
渡辺泰博さん、幸子さん
平山さち子さん